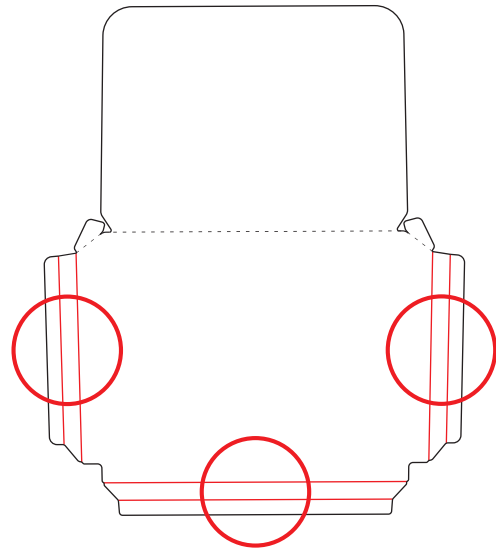


組立方

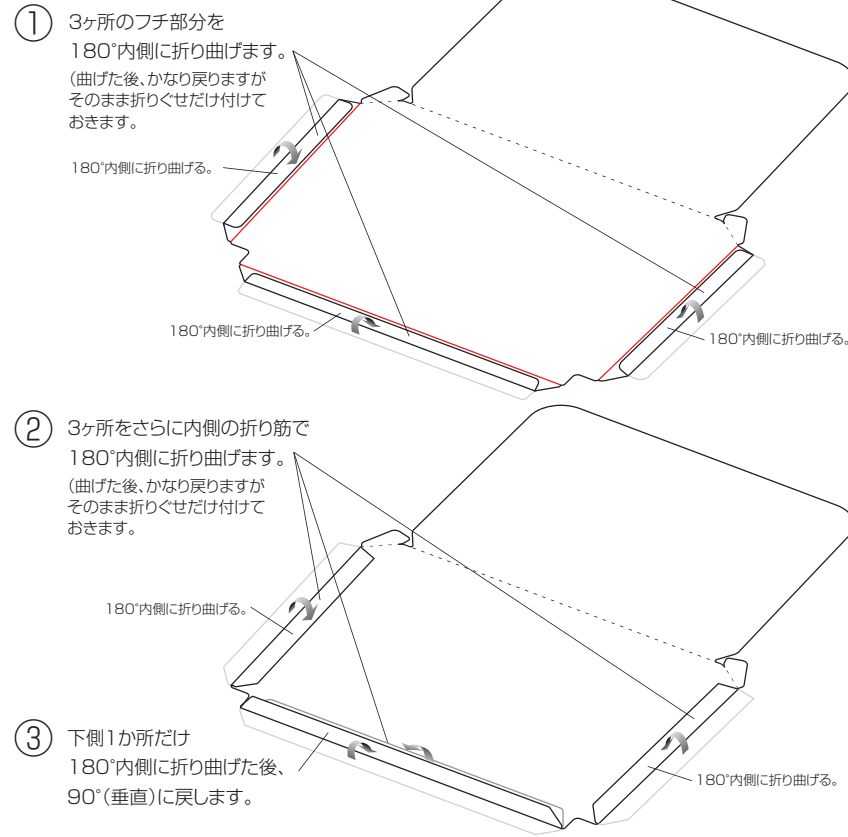
1

1. ボディーパーツ(A)のフチ3ヶ所をそれぞれ180°折る

皮革のような模様のある面が表。つや消しのようなザラザラして面が裏になります。裏面を上にして、フチの3ヶ所を内側に180°折ります。2枚あるので、それぞれ同じように折ります。

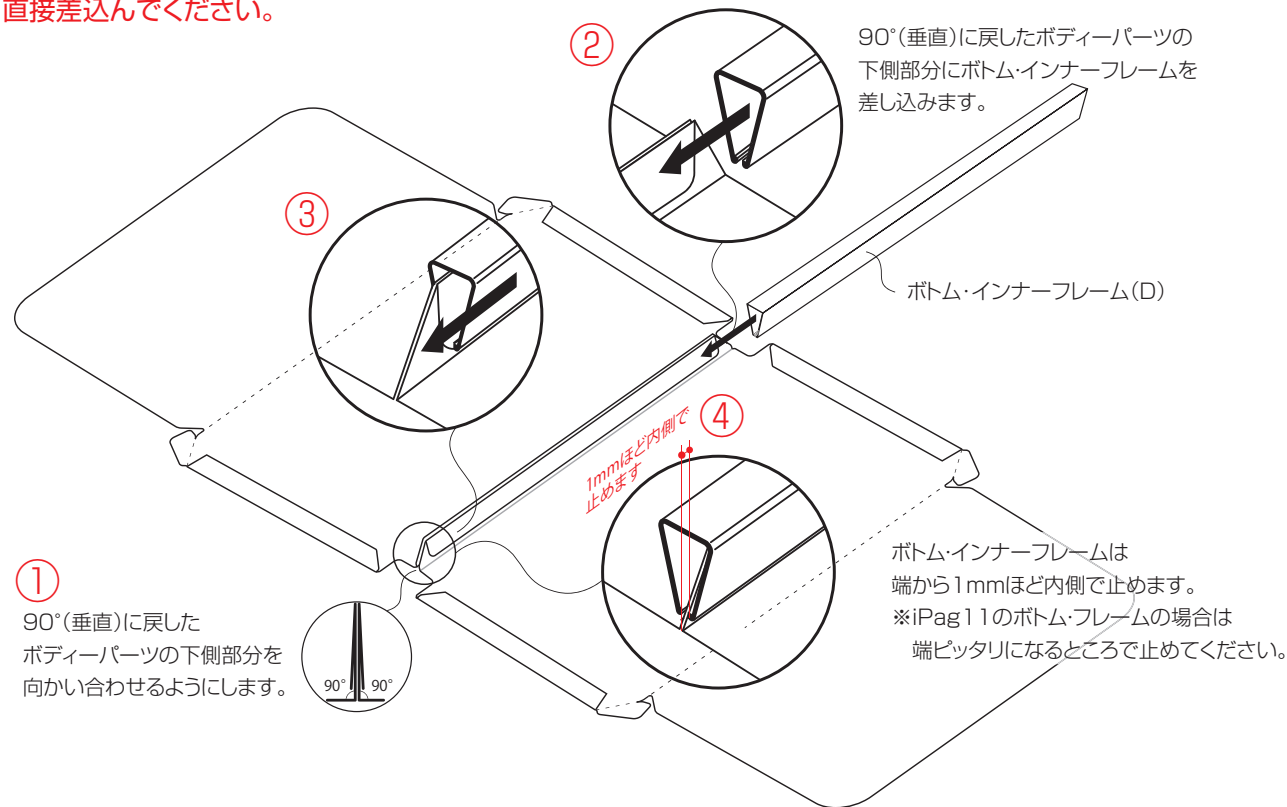


縦型の方も同じく、フチの3ヶ所です。



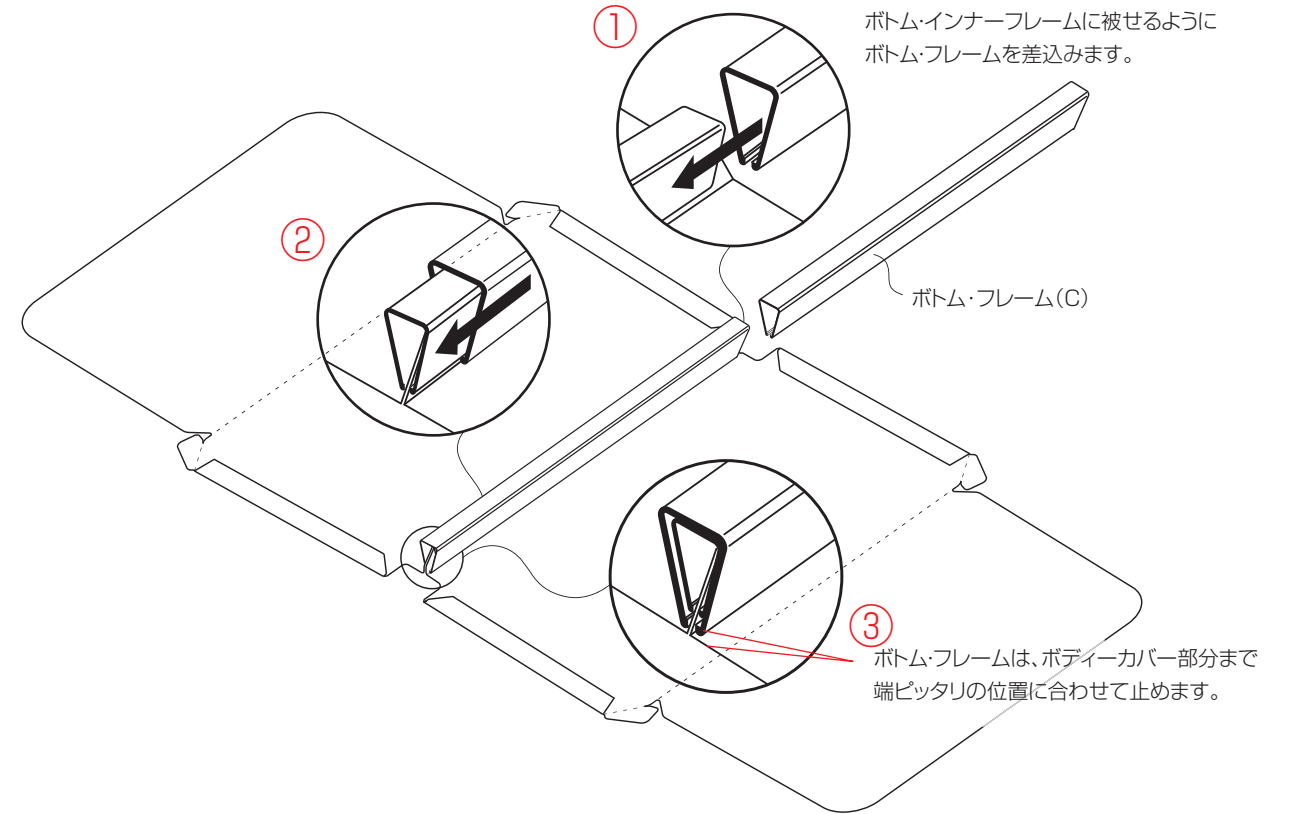
2. ボディーパーツ(A)2つを下側部分で向かい合わせ、ボトム・インナーフレーム(D)を差し込みます。

※iPag 11には付属しておりませんので、ボトム・フレームを直接差込んでください。



2

3. ボトム・インナーフレーム(D)に被せるようにボトム・フレーム(C)を差し込みます。

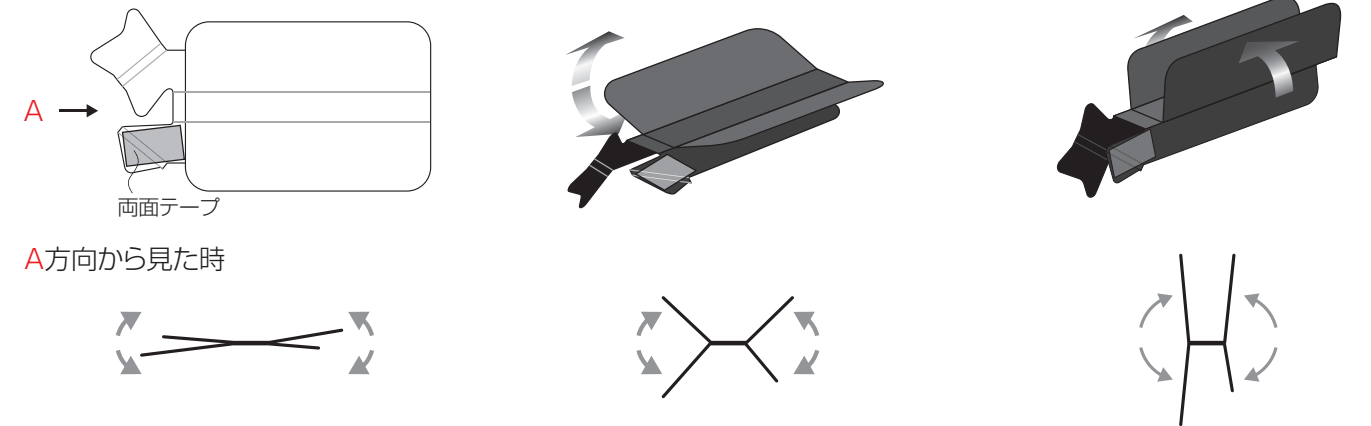


4. ボトム・フレームカバー(B)の組立て

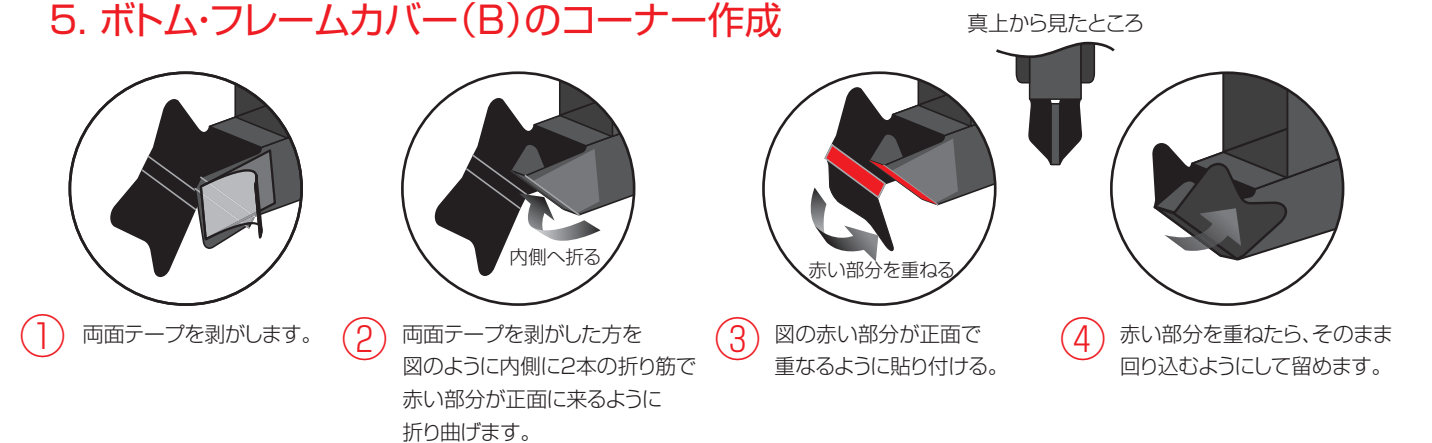
ボトム・フレームカバー(B)

2枚のパーツを中央で張り合わせてあります。

- ① 上下それぞれ、ちょうちょの羽のように垂直方向に折り曲げます。
- ② 上下それぞれ、垂直方向に折り曲がった状態です。

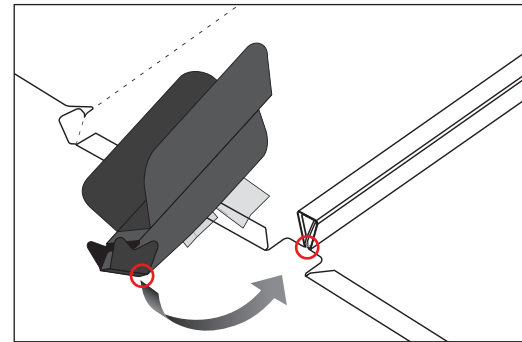
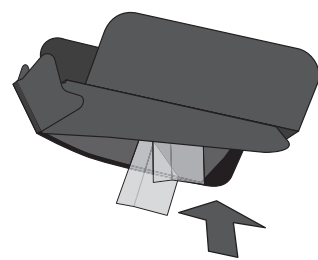
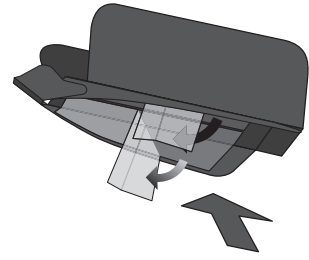


5. ボトム・フレームカバー(B)のコーナー作成



6. ボトム・フレームカバー(B)をボトム・フレーム(C)にセットします。

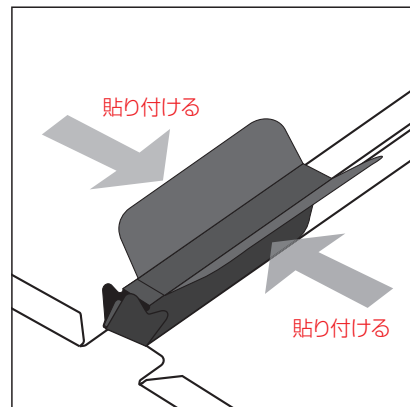
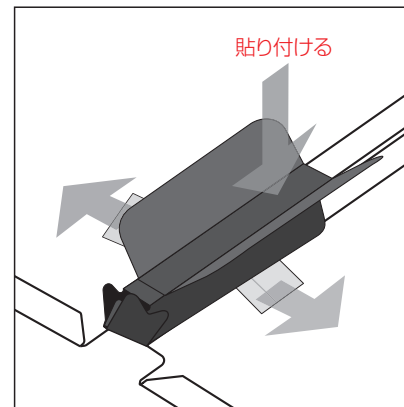
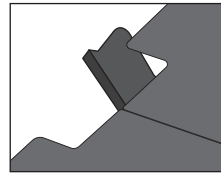
重ねて作ったコーナー部分の裏側に貼られている両面テープのライナーを半分だけ剥がして、ボトム・フレーム(C)の両端にそれぞれボトム・フレームカバー(B)を貼り付けます。



① 裏側のライナーを半分だけ剥がして、直角に下に出すように折り曲げます。

② これは、貼り付けた後、ライナーを引き抜きやすいようにしておくためです。

③ ボトム・フレーム(C)とボトム・フレームカバー(B)の赤い丸○部分を隙間が開かないように設置します。裏側から見て隙間が空いていない状態で設置します。



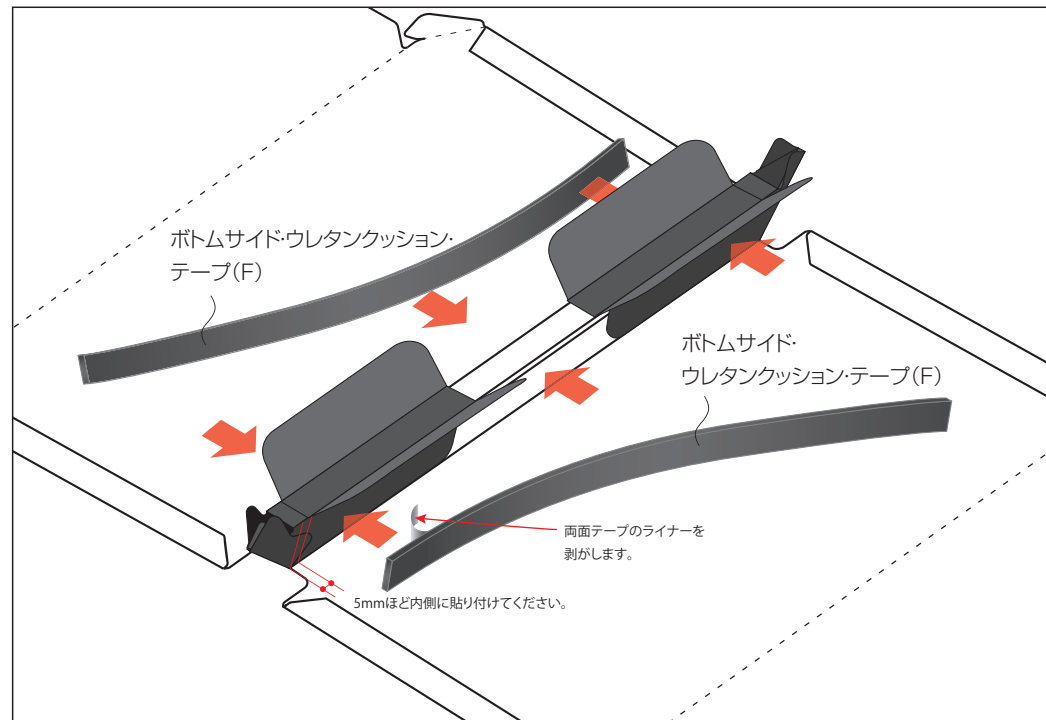
④ ボトム・フレームカバーの上部を貼り付け位置を固定し、左右のライナーを外側に引っ張って抜きます。

⑤ ライナーを抜き取った部分をしっかり貼り付け固定します。

7. ボトムサイド・ウレタンクッション・テープ(F)をボトム・フレーム(C)、ボトム・フレームカバー(B)の外側両面に貼り付けます。

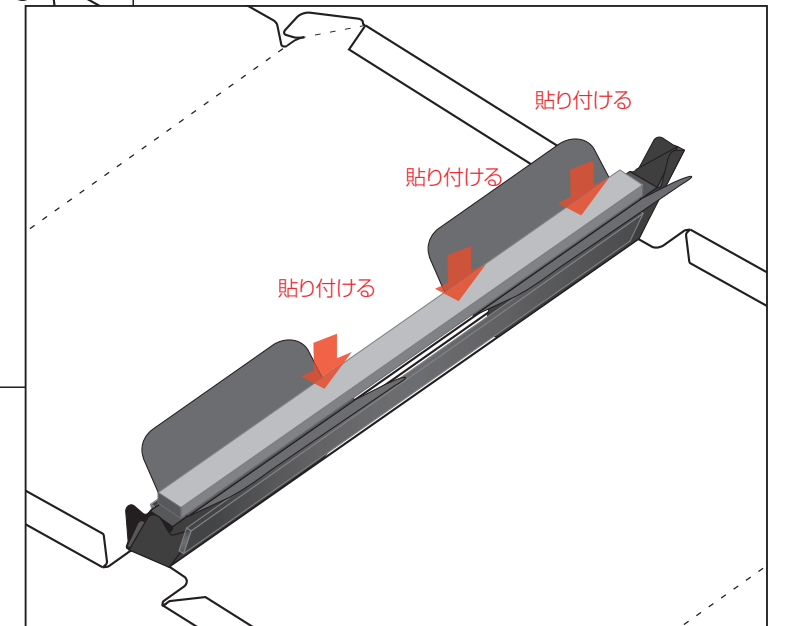
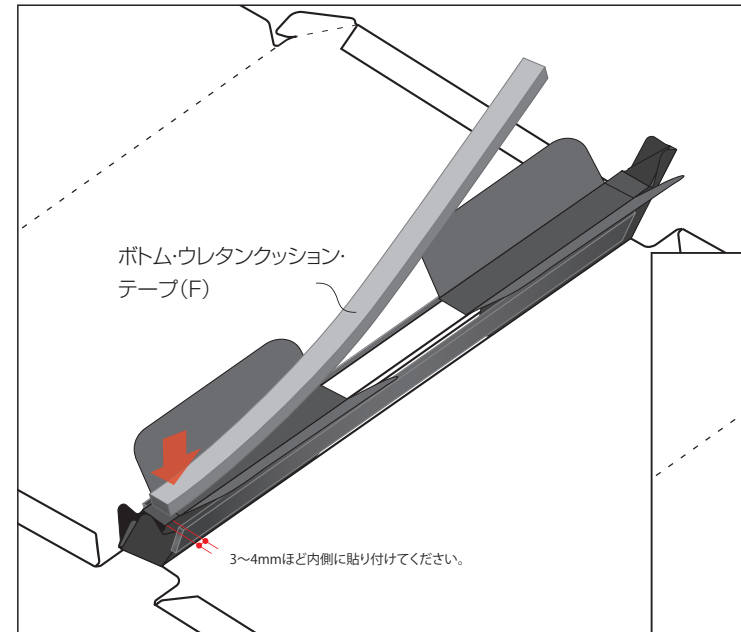
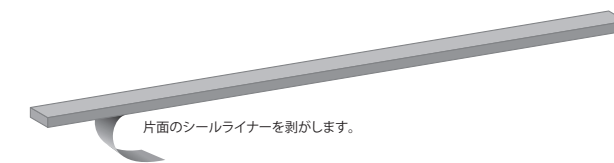


ボトムサイド・ウレタンクッション・テープ(F)
※丸まって片面がシールになっています。



8. ボトム・フレームカバー(B)の上面にボトム・ウレタンクッション(E)を貼り付けます。

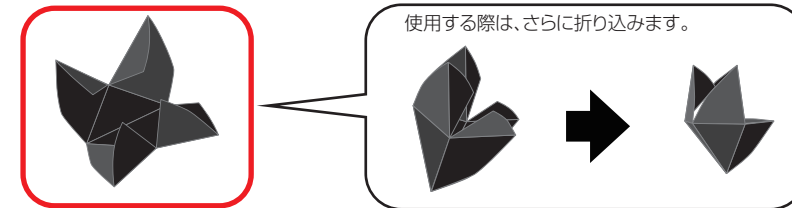
ボトム・ウレタンクッション(E)のシールライナーを剥がします。サイドフレームカバー(H)の上面に貼り付けます。ボトムフレームの上部の端より、3~4mm内側から中央に合わせて直線に貼り付けます。



9. コーナー・プロテクション(G)を角に設置します。

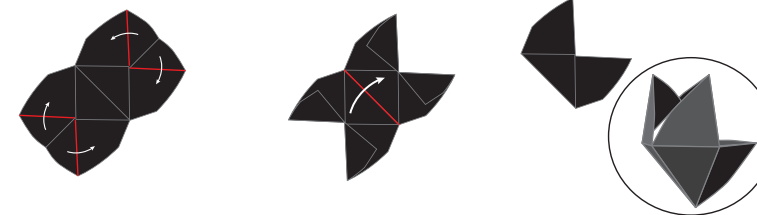
複雑な折り方をしたパーツです。角の衝撃吸収機能を0.36mmのポリセームの折り紙構造で実現。ボトム・フレームカバー(B)の角の部分の二重になっている内側に縦と横のフレームに衝撃力を分散するL型構造を持っています。

予め折りたたんであります。



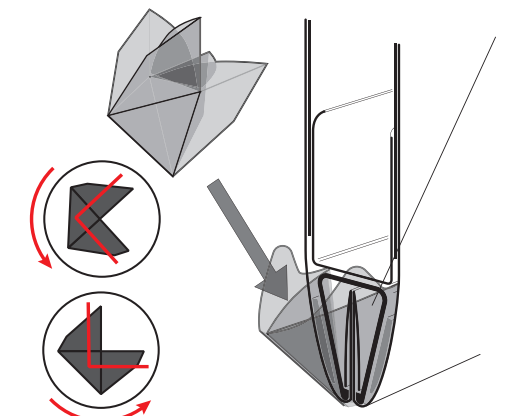
以下のように折り込んであります。

① 赤い線の折り筋で内側に180°折り曲げる。 ② 赤い線の折り筋で内側に90°折り曲げる。 ③ 完成



① ボトム・インナーフレーム(C)※の中にL型にした尖った先をコーナー・プロテクション(G)に差し込む。

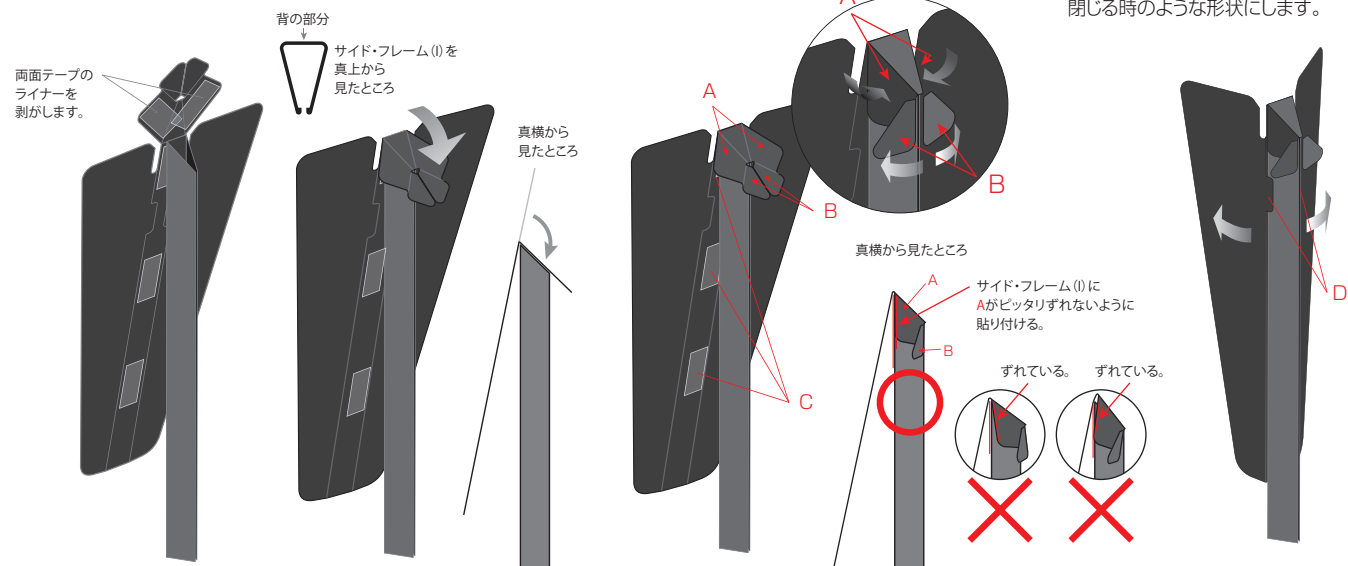
※iPag 11はボトム・フレーム(B)に直接差し込み



尖った先を少し回転させるように滑らせるように入れると入れやすくなります。

10. サイド・プロテクションパーツを組立てます。

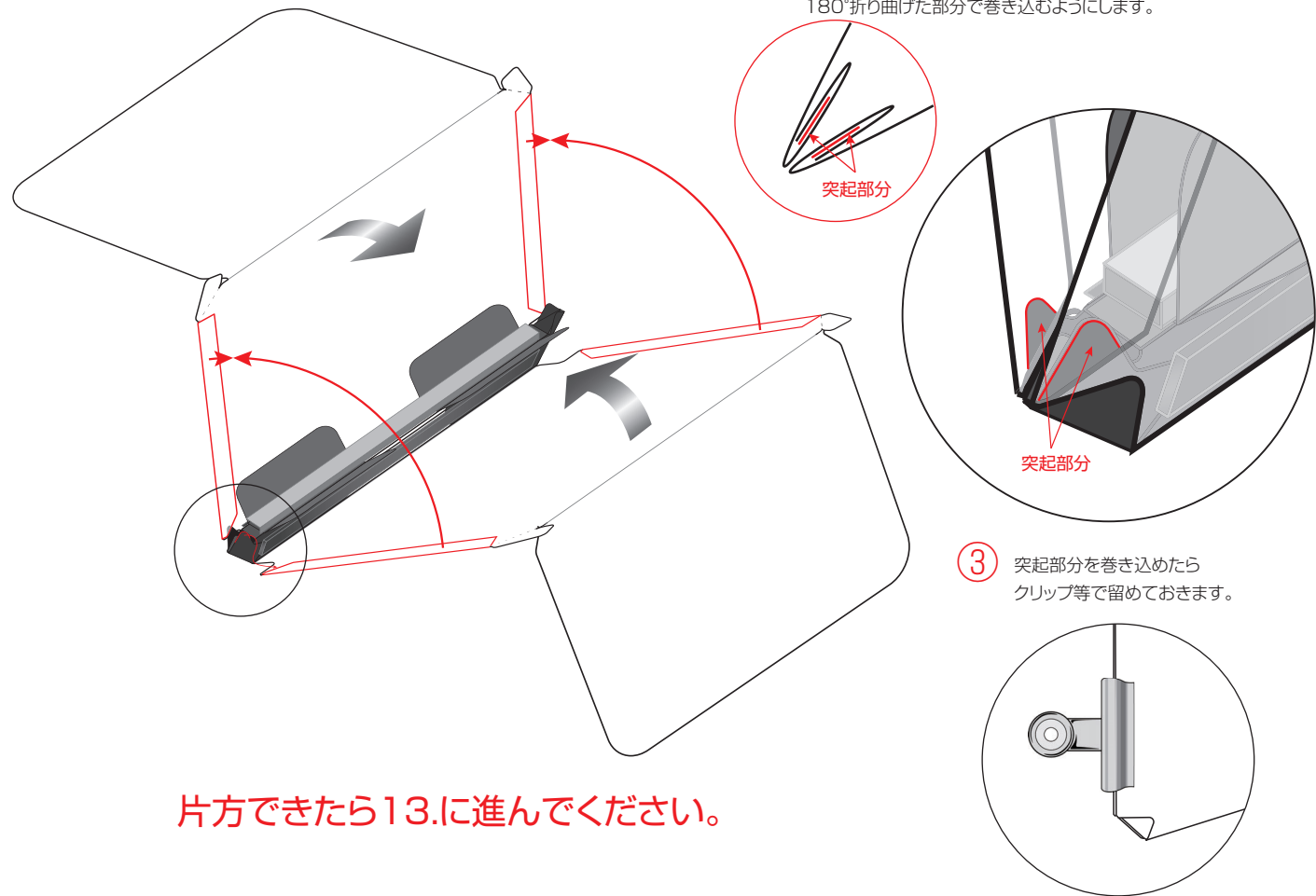
- ① サイドフレーム(I)の背の部分にサイドフレームカバー(H)の両面テープが貼ってある面を当て、図のようにY型の頭の部分の両面テープのライナーを剥がし、サイドフレーム(I)の斜めにカットされている部分を覆うように前に折込みます。
- ② 図のAの部分を実サイドフレーム(I)にピッタリと貼り付け、Bの部分は左右に広がるように折り曲げておきます。
- ③ 図のCの両面テープのライナーを剥がし、サイドフレーム(I)にピッタリとくっつけ、Dの部分(両側)を実サイドフレーム(I)の側面に出すようにしてチョウチョが羽を閉じる時のような形状にします。



※Apple Pencilホルダーをつける場合は、サイド・プロテクションパーツが完成したところで14.を参照して取り付けてください。

11. 対になっているボディーパーツ(A)の2面を合わせるように立ち上げます。

- ① 1.で180°に折り曲げたサイド部分を合わせるように立ち上げます。
- ② ボトム・フレームカバー(B)の突起部分をボディーパーツの端を2回180°折り曲げた部分で巻き込むようにします。



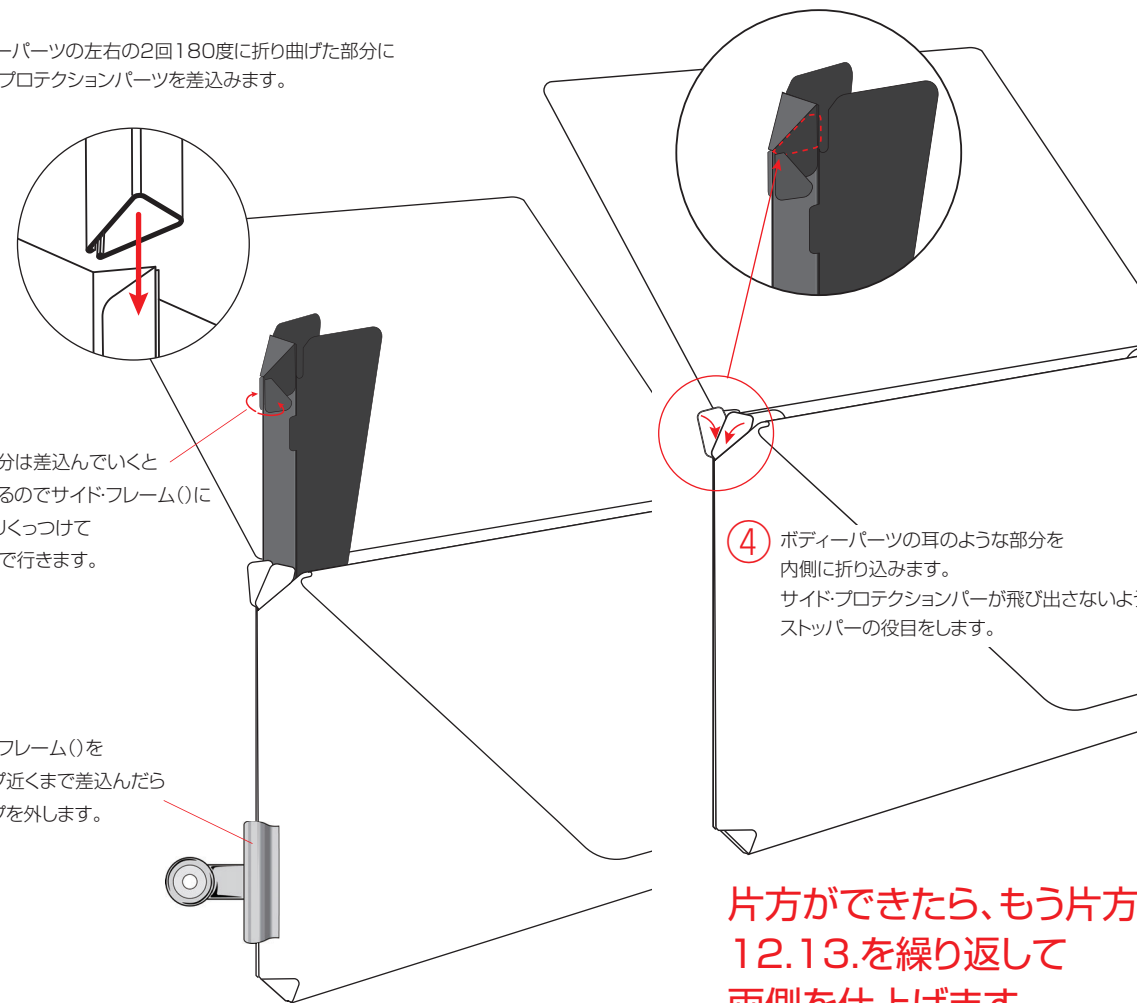
片方できたら13.に進んでください。

12. サイド・プロテクションパーツを差し込みます。

- ① ボディーパーツの左右の2回180度に折り曲げた部分にサイド・プロテクションパーツを差し込みます。

- ② この部分は差込んでいくとぶつかるのでサイドフレーム(I)にピッタリくっつけて差込んでいきます。

- ③ サイドフレーム(I)をクリップ近くまで差込んだらクリップを外します。

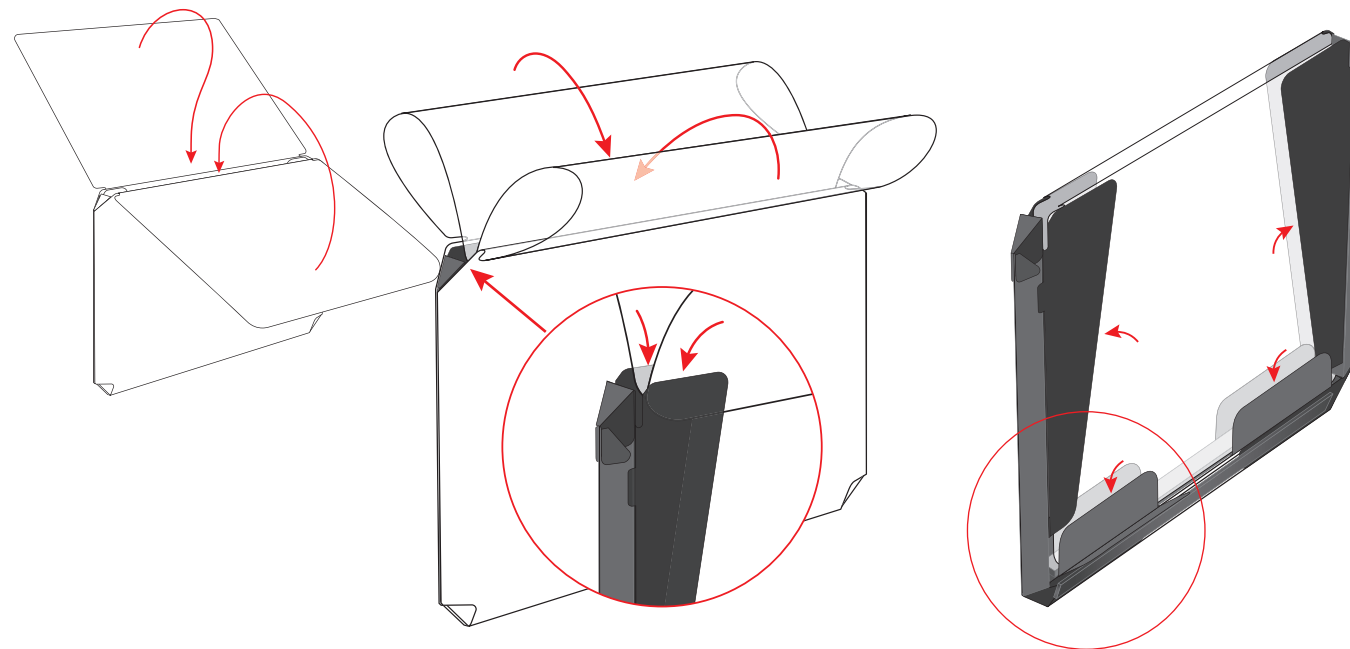


片方ができたら、もう片方を12.13.を繰り返して両側を仕上げます。

13. ボディーパーツの外側の部分の中に入れ込みます。

- ① サイド・プロテクションパーツの内側にボディーパーツ(A)の外側の部を入れ込んでいきます。

- ② 内側に入れ込んだ先は、必ずボトム・フレームカバー(B)の内側になるように差し込みます。



14. Apple Pencilホルダーの取り付け方 ※iPag16には付属していません。

Apple Pencil holderについて

iPag 11、iPag 13、iPag 14シリーズにはApple Pencilホルダーが付属します。

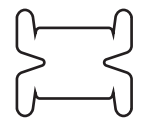
iPag 11 (縦・横両方とも)はiPad9.7~11までの製品でApple Pencilをホルダーの差した場合のサイズで作られています。

iPad Pro 12.9でApple Pencilホルダーを付けて本体を収納する場合、背面ケースを取り付けている場合はiPad 14 (縦・横両方とも)をご使用いただければApple Pencilホルダーを使用して本体を収納できます。

iPag-Assembly_11

Apple Pencil holder取付方

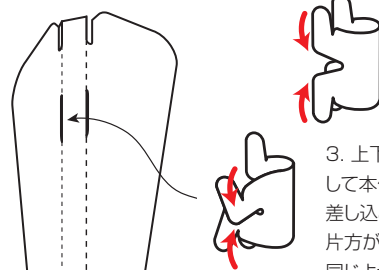
H型をしたPencilホルダーは以下のようにして取り付けることができます。



1. Pencilホルダー



2. 曲げます。

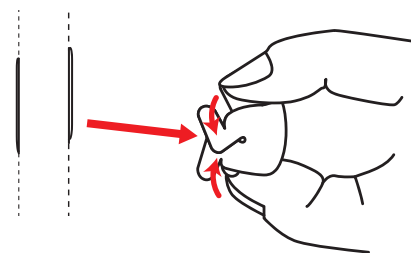


3. 上下の突起部分を重なるようにして本体サイドのスリットに差し込みます。片方ができたらもう片方も同じように差し込みます。

4. 下側の突起を先に差し込んでから上の突起を押し下げて差し込むと入れやすいです。

Apple Pencil holder取り外し方

取り外すときはホルダーの筒状になった部分を指で上下から潰すように挟み込むと抜き取ることができます。



PencilホルダーについてはApple Pencilのサイズに合わせて作ってあります。Apple Pencil以外では入らなかったり、緩かったりする場合があります。

15. 部品だけのオーダーもできます。

落としてフレームが割れたり、ボディーパーツが損傷した理、汚れがひどくなった場合、パーツだけ取り替えて再使用することができます。

ボトムパーツ部分は強力な両面テープで貼り込む作りなので、ゆっくり剥がすことで分解は可能ですが、再度使用できなくなる場合がありますので、その際はパーツだけ交換して再度組立てて使用してください。

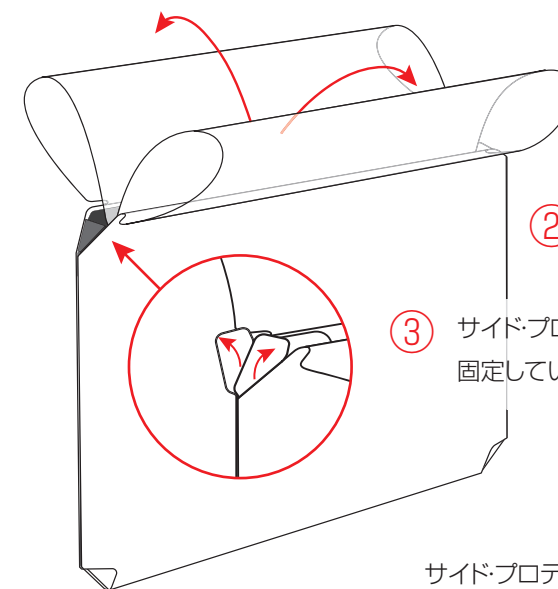
【パーツ価格表】

www.andjoule.com/ipag-parts-list

16. 分解について

① 組み立て方の逆順で分解することができます。

最初はボディーパーツの内側に折り返しているところから、組立て手順の逆をすすめることで分解できます。

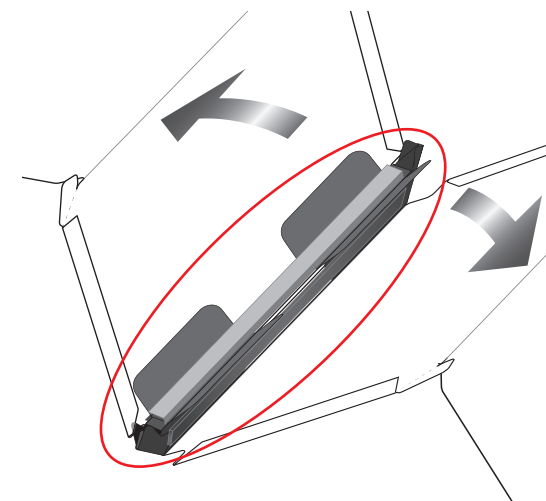


② 滑り止めの着いた軍手などで、真っ直ぐ上に引き上げるようにゆっくり外側に引き出していきます。

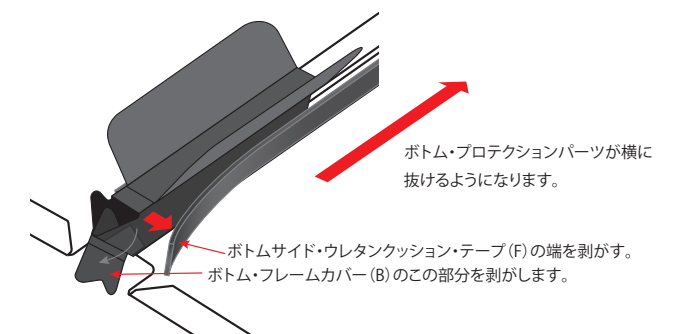
③ サイド・プロテクションツールを内側に折り込んで固定しているストッパー部分を外側にして外します。

④ サイド・プロテクションツールを上部に引き出します。(もう片方も)

⑤ ボトム・プロテクションツールは、両面テープを使って留めている部分が多いので、フレーム等に破損がある場合は、ボトム・プロテクションツールを構成するパーツを全てお取替えすることをおすすめします。



⑥ ボトム・プロテクションツールを外す時は、端の部分だけ図のように剥がすと、抜くことができるようになります。



ボトム・プロテクションパーツが横に抜けるようになります。

ボトムサイド・ウレタンクッション・テープ(F)の端を剥がす。
ボトム・フレームカバー(B)のこの部分を剥がします。